共に生きる

高齢者が地域で安心して暮らし続けるために

問い合わせ
福祉課介護福祉係　☎22-7743

竹原市の人口は、平成24年2月末現在2万8738人です。そのうち65歳以上の人は9，456人で、高齢化率は32・9％となっており、今後も高齢化は進むと考えられます。

高齢化が進む中で、介護が必要になった場合でも、住み慣れた地域や住まいで安心して、自立した生活を送ることが重要だと考えます。

この基本的な考えのもと、市では安心して生活を送るためのさまざまなサービスを実施しています。

あんしんホルダー登録システム

平成24年1月から開始した事業で、2月末の登録者数は約220人となっています。

これは高齢者が一人で外出していた時に、突然倒れたり、事故に遭い緊急搬送されて、身元が確認できない場合に、このホルダーを携帯しておけば、速やかに家族と連絡を取ることができるシステムです。

また、認知症の人が、道に迷い家に帰れなくなってお困りの時にも役立つほか、一人暮らしで家族が遠方に住んでいる人の安心にもつながります。

対象者は、概ね65歳以上で市内に在住している人です。

あんしん電話

高齢者が自宅で安心して生活していくための予防型緊急通報サービスです。自宅にあんしん電話の機器を設置することにより、24時間いつでも介護・健康相談が通話料無料で利用できます。もちろん緊急時にも対応します。

また、2か月に1回、電話で健康状態を伺います。持ち運びが可能なペンダントタイプもあり、急病や緊急時などいつでも電話がつながるので、家の中で安心して生活することができます。

対象者は概ね65歳以上の高齢者のみの世帯の人で、月額の保守料金が必要となります（市民税課税世帯は利用者負担金も必要です）。

住宅改修事業など

介護保険サービスでは、小規模な住宅改修を行うことができます。要介護・要支援認定を受けている人で、身体状況に応じて、手すりの取り付けや和式便器から洋式便器への取り替え、段差の解消、滑りにくい床材への変更、引き戸への扉の取り替えが可能です。

工事施行前にケアマネジャーを通して必要な書類を添えて申請していただきます。市が認めたものについて、一旦利用者に全額支払いをしてもらった後に、20万円を上限として費用の9割を支給します。

その他にも、食事の調理が困難な高齢者に対して、バランスが取れた食事を提供する配食サービスや、介護保険で認定を受けていない人を対象にした介護予防教室として「いきいきはつらつ教室」等を行っています。

今後も高齢者が安心して地域で生活できるよう質の高い福祉サービスの確保、将来にわたって安定した介護保険制度の確立などに取り組んでいきます。

平成24年度「パソコン点訳」ボランティア養成講座受講者募集！

パソコンを使って、点訳する方法を学びませんか。

日時　6月7日(木)～9月6日(木)の毎週木曜日（8月16日(木)は除く）各回とも10時～11時30分

場所　ふくしの駅

対象　市内在住または市内に通勤している人で、WINDOWSの基本操作ができる人

定員　15人

受講料　551円（テキスト代）

申し込み・問い合わせ　5月31日(木)（当日消印有効）までに、電話、FAX、郵送またはEメールで、竹原市社会福祉協議会へ申し込んでください。

☎22－5131

※パソコンを持参できる人はお知らせください。